



HOSHIBA

医療法人社団星秀会

ほしば歯科医院ニュースレター

Vol.70

今年は心配されていた桜も、みごとに入学シーズンを彩ってくれました。でも、桜の開花予想日の発表が、気象庁のデータの入力ミスで謝罪とは、びっくりしました。実際に毎日桜の標本木を見ていた職員は「おかしいなと思った」と述べていたから、呆れてしまいました。

私にパソコンのエクセル計算を教えてくれた人は「計算は確かに間違いがありません。でも、入力を間違えたら、すべてが違ってしまいます。私は、手書きでないものほど、しっかりと、見直すようにしています。それが、パソコンとの上手な付き合い方です」と言っていました。

また、機械では、計り知れない人間の経験から会得するものをどうして大切にすることができなかつたのでしょうか。天気予報を見ていると、気象予報士の方は、度々、「昔から〇〇だとあしたは晴れ」「今日は暦の上では〇〇が××する日なので△△と言います」などの例をだして天気について解りやすく説明しています。

又、4月から、10年ぶりの気象用語の改定で、『宵のうち』が『夜のはじめ』『朝のうち』が『朝』などに変わったそうですが、なんとなく趣のある言葉が消えて淋しいような気がします。

私事ですが、季節の移り変わりや、『わび』『さび』を大切に思い、冒頭に季節の話題を取り入れる私としては、何とも腑に落ちない気象庁の動きです。



薬の副作用



タミフルの副作用が問題となっています。

今回は『薬の副作用』について少しお話します。

病気を治す主作用に対し、それとは異なる別の作用のことを副作用といいます。どんなに素晴らしい薬にも、光の裏側には影、すなわち副作用が

あるのです。

副作用の現れ方は、薬により異なります。眠気やのどの渇きのような軽い症状から、命に関わる重いものまで、その程度もまちまちです。もちろん、人それぞれの体質や体調にもよります。



また、薬の種類によっても、ビタミン剤のようにほとんど副作用のないものから、抗がん剤のように高頻度に起こるものまで様々です。そして、以外かもしれませんが、ひとつの薬の副作用の発生頻度に確実な数字はないのです。薬が認可されるまでには、無数の臨床データを必要としますが、個々人の状態によって、作用は同じではないからです。薬の添付文書は、目安にはなりますが、これが全てではないのです。

副作用の報告件数で常に上位を占めるのはペニシリンに代表される抗生物質です。抗生物質は、肺炎や敗血症など命にかかわるような感染症にはなくてはならない有用な薬です。「副作用の多い薬」＝「悪い薬」ではないのです。

薬の服用時には、正しい用法、用量を守ることが、第一条件です。服用後「何か変だな」と思った場合は、些細なことでも、医師か薬剤師に相談しましょう。また、既に服用している薬がある場合は、必ず、処方前に伝えましょう。薬の相互作用による有害反応も薬の副作用といえます。

絶対とは言い切れないけれど、様々な安全性を考え、処方、販売されている薬の重い副作用の被害にあうのは、交通事故にあうような確率だとたとえる学者がいました。たぶん、交通事故を恐れて車に乗らないという人はいないと思います。けれど一方で、私たちは万一の事故にそなえ、シートベルトを着用し安全運転を心がけます。交通事故の怖さを知っているからです。薬の副作用を怖がり過ぎてもいけません。自分が服用している薬の副作用やその対処法を知ることは大切なこ

とです。万が一の事故を防ぐシートベルトにもなるのですから。

✳️ むし歯にならない方法 ✳️

先日、「先生、むし歯にならない方法を教えてください」といわれました。残念ながら、絶対にむし歯にならない方法はないのです。

先に述べた「薬の副作用」といい、医療とは、絶対というものが無い世界なのです。

彼には『むし歯になりにくい状態』についての説明をしました。

食べ物のかすなどが口腔内に残っていると、プラーク（歯垢）の増加を促し、歯や歯ぐきに付着しむし歯や歯周病の原因になります。プラークは細菌の固まりなので、複雑な形をした歯の溝や根のへこみ、歯ぐきの下の深い部分にもひそかに、容易に入り込んでいきます。

ですから、まずは、食後のブラッシングが何よりも大切なのです。食後のブラッシングの意識は、最近では、かなり高まっていると思います。

けれど、私たちは、3食以外にも食べ物や飲み物を口にしています。おやつを食べたから、飴をなめたからと、ブラッシングをする方は少ないと思います。ましてや、糖分の含まれた飲料水を飲んだからとブラッシングする方はもっと少ないと思います。でも、このような時にも、できれば、軽くでもいいのでブラッシングをしたり、ぶくぶくうがいをするだけでも違います。

彼からは、早速、その日から、今まで以上にブラッシングを一生懸命して、リステリンを持ち歩いているというメールが届きました。（関心）



ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771（院長直通）

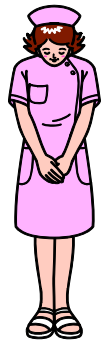
E-mail info@hoshiba.net

<http://www.hoshiba.net>



お知らせ

現在、江戸川区歯科医師会で要職を務めさせていただいております。これも地域のため、皆様のためと信じ頑張っていきたいと思っています。ただ、会議が毎日のように入っており、診療時間を短縮する日が増えております。予約がなく、閉院時間近くにご来院される方は、ぜひ一度ご連絡ください。



編集後記

先日の『能登半島地震』の際、TVの地震速報を見てすぐに、能登にひとりで暮らしている母に電話をしました。やっと、3時間後に電話が通じ母の無事を確認できました。携帯電話の電池は赤ランプでした。着メロや、ワンセグもいいけれど、そんな事より、緊急時にどんなに回線が混んでも、すぐに繋がるシステムを開発して欲しいと痛感しました。

ほしば歯科医院ニュースレター 第70号
発行日 2007年4月3日発行

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 1-13-7
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771

e-mail. info@hoshiba.net

<http://www.hoshiba.net>

発行責任者 干場貴司